

# 2021年に“揺れ”が強かった地震トップ3

地震津波火山ネットワークセンター 久保久彦

## Point

- 防災科研は全国約1700ヶ所で「強い揺れ」を日々観測しています。
- 2021年\*1において、特に揺れが強かった地震トップ3\*2を紹介します。
- 2021年2月13日福島県沖の地震（M7.3）の際に、宮城県のKiK-net山元で観測された1432 cm/s<sup>2</sup>の揺れ（計測震度6.4）が最大でした。

\*1 2021年1月1日から12月10日までの期間 \*2 防災科研による観測において地表最大加速度が大きかった順

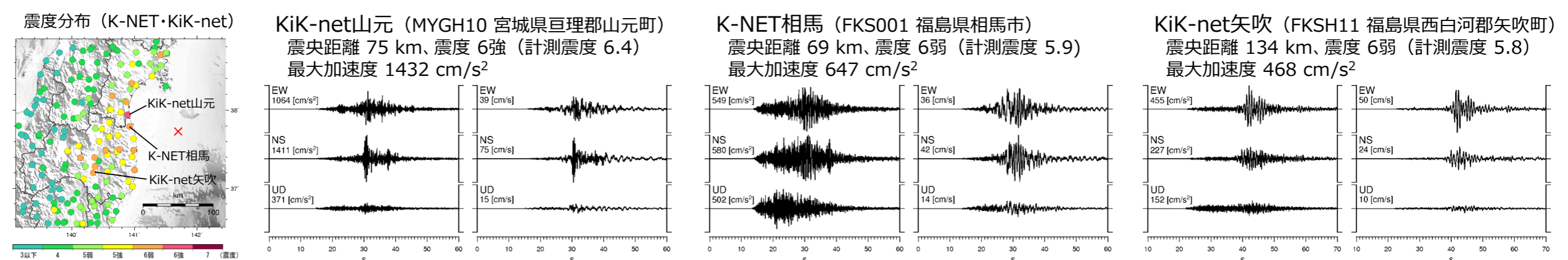
## 研究の領域

予防 応急対応 復旧・復興

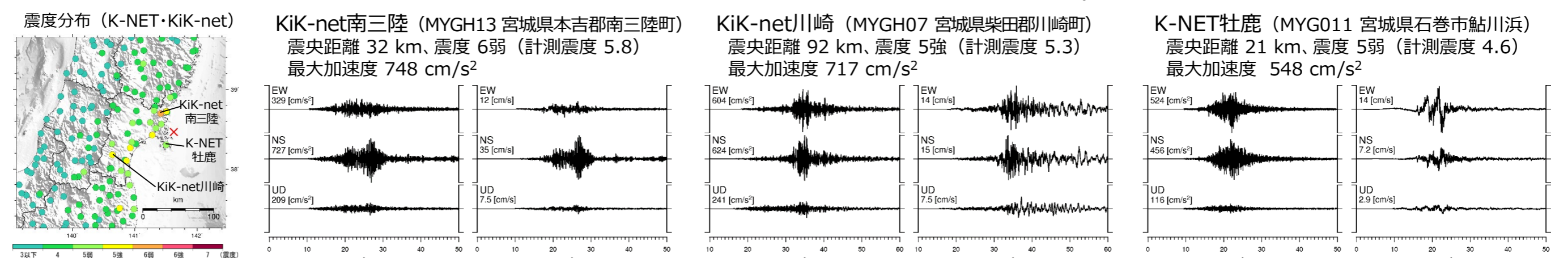
予測・情報力

防災基礎力

### 1. 2021年2月13日福島県沖の地震 M7.3、深さ 55 km、最大加速度 1432 cm/s<sup>2</sup>、最大震度 6強



### 2. 2021年3月20日宮城県沖の地震 M6.9、深さ 59 km、最大加速度 748 cm/s<sup>2</sup>、最大震度 6弱



### 3. 2021年5月1日宮城県沖の地震 M6.8、深さ 51 km、最大加速度 560 cm/s<sup>2</sup>、最大震度 5強

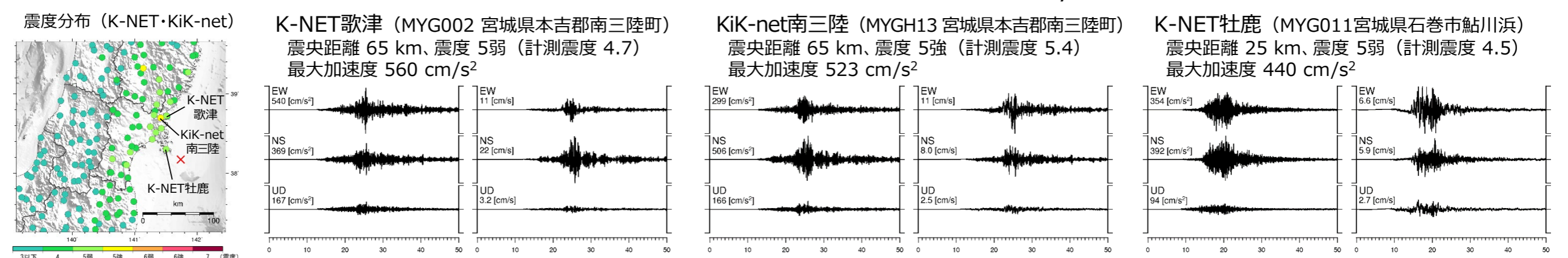


図1 2021年2月13日福島県沖の地震（M7.3）、2021年3月20日宮城県沖の地震（M6.9）、2021年5月1日宮城県沖の地震（M6.8）の際に、防災科研K-NET・KiK-netで記録された強震動波形

## 概要

防災科研 地震津波火山ネットワークセンターは観測を通じた災害の軽減を目指し、陸海の7観測網で構成される陸海統合地震津波火山観測網MOWLASを運用しています。その中でも強震観測網K-NET・KiK-netは、被害を及ぼすような「強い揺れ」を振り切れることなく正確に記録することを目的として、全国約1700ヶ所で観測を行っています。ここではK-NET・KiK-netにおける2021年の観測事例を報告します。

## 今後の展望・方向性

K-NET・KiK-netによる観測データは、地震発生後インターネット上で公開されるとともに、気象庁を含めた多くの機関に配信されており、災害時の災害対応や地震ハザード・被害リスク評価、地震やその揺れに関する研究などに活用されています。また日本列島の今現在の揺れを「強震モニタ」でリアルタイムにインターネット配信しています。今後も安定的な観測・データ公開に努めるとともに、更なる利活用を推進していきます。

